

ごあいさつ

株主の皆様には、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第114期の営業概況について御報告申し上げます。

当期における世界経済は、全体としては景気を持ち直し局面にあったものの、力強い回復はアジア圏に限られるとともに、中東情勢の悪化に伴う影響も発生するなど、安定感に欠ける状態で推移しました。

我が国経済におきましては、企業収益が改善に向かう動きも見られたものの、緩やかなデフレや円高、厳しい雇用情勢という基調のもとで、設備投資・個人消費など内需は本格的な回復に至らず、また、我が国史上最大規模となる東北地方太平洋沖地震が発生したことに伴う様々な影響が強く懸念される状況となりました。

国内建設市場につきましては、公共投資が削減される中で、前期に大幅な減少となった民間部門の建設投資も、景気の先行きに対する不透明感や製造業を中心とした海外投資の高まりを受けて弱含みで推移したことから、受注競争が一段と激しさを増すなど、依然として厳しい経営環境が続きました。

こうした中、当社グループでは、経営環境の激変に耐えうる安定的な収益基盤の確立を目指して、中核事業である土木・建築・開発の各事業における「受注力・収益力」の一層の強化を図る「中期経営計画（2009～2011年度）」をグループ一丸となって強力に推し進めてまいりましたが、当期における当社グループの業績は次のとおりとなりました。

建設事業受注高は、当社の建築工事における増加を主因として、前期比4.4%増の1兆1,884億円（前期は1兆1,383億円）となりました。

このうち、当社の受注高につきましては、土木工事は、海外において減少したことを主因として、前期比15.6%減の2,260億円（前期は2,679億円）となった一方で、建築工事は、民間設備投資が低調な中で非製造業を中心とする大型案件の受注が寄与し、前期比12.4%増の7,319億円（前期は6,509億円）となったことから、土木、建築を合わせた建設事業全体の受注高は、前期比4.3%増の9,579億円（前期は9,188億円）となりました。

売上高は、前期における建設事業受注高の大幅な減少を主因として、前期比19.0%減の1兆3,256億円（前期は1兆6,373億円）となりました。

利益面では、当社の建築工事における完成工事総利益が改善したことを主因として、営業利益は172億円（前期は67億円の営業損失）となり、経常利益は前期比94.2%増の175億



円（前期は90億円）となりました。

当期純利益は、ユーディーエックス特定目的会社の優先出資持分を譲渡したことに伴う売却益を特別利益に計上したこともあり、前期比95.4%増の258億円（前期は132億円）となりました。

我が国経済並びに建設市場の今後の見通しにつきましては、世界経済の緩やかな成長が期待されるものの、東日本大震災の影響を背景に、国内景気の自律的な回復にはなお時間を要すると考えられ、民間設備投資計画の見直しや資材価格の上昇に対する懸念も踏まえると、建設業界を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増すものと思われまます。

当社グループでは、強固な収益基盤の確立を目指して、「中期経営計画（2009～2011年度）」を鋭意推進しておりますが、建設需要並びに不動産市況の低迷が長期化している現状では、同計画に掲げた目標の達成は厳しい状況となっております。

このため、国内建設事業につきましては、一層の原価低減努力と技術力を活かした採算重視の受注方針により、収益力の更なる向上を目指すと同時に、海外建設事業につきましては、施工工事における採算性の改善を尽くすとともに、アジア圏を中心とする有望な市場に対する営業の強化を図り、グループ全体の業績拡大に努めてまいります。

開発事業につきましては、国内・海外を問わず、堅実な取り組み方針のもとで、建設事業との相乗効果を追求し、優良プロジェクトの創出を図ることで、収益力の強化を目指してまいります。

以上のような取り組みを通して、安定的に利益を積み上げることにより、自己資本の充実と有利子負債の削減を着実に実施することで経営基盤の強化に繋げてまいります。

また、東日本大震災に対しまして、当社グループでは、人員の派遣や支援助資の運搬を含めて迅速に復旧・復興作業に当たっております。引き続き、グループの総力を挙げて、これまで培ってきた高度な技術力を存分に発揮しながら、建設業界の一員として果たすべき責任と役割を全うすることにより、この未曾有の大災害を乗り越えるための最大限の努力を積み重ねてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 23 年 6 月

代表取締役社長

中村 健一